

(独) 工業所有権情報・研修館委託 平成29年度中小企業等特許情報分析活用支援事業  
**特許情報分析利用申請書 (①研究開発段階②出願段階)** [20170501 版]

利用申請者情報						
申請者名称		発明推進株式会社			申請者種別	<input type="checkbox"/> 1. 中小・中堅企業(個人事業者含む) <input type="checkbox"/> 2. 中小・中堅企業で構成されるグループ <input type="checkbox"/> 3. 地方公共団体 <input type="checkbox"/> 4. 公設試験研究機関 <input type="checkbox"/> 5. 都道府県等中小企業支援センター <input type="checkbox"/> 6. 商工会議所や商工会等の経済産業団体 <input type="checkbox"/> 7. ものづくり組合等の生産者事業協同組合 <input type="checkbox"/> 8. 大学、高等専門学校、高等学校等の教育機関
連絡先・納品先	担当者所属	技術開発部				
	担当者名	創造 太郎				
	所在地	〒 105-0001	東京都港区虎ノ門〇-〇-〇			
	ウェブサイト	1. <input checked="" type="checkbox"/> (URL: http://www.invention-suishin.co.jp ) 2. なし				
	TEL	03-1234-5678	E-mail	t-souzou@hatsusui.co.jp		
FAX	03-1234-5789	その他				
業種	製造業	主な製品・サービス	搬送制御システム			
資本金	2億円	従業員数	220名			
知財に関する社内体制	担当部署	1. 社長室 2. 総務部門 3. 知財部門 4. その他(技術開発部)	担当者数	1. 専任( 名) 2. 兼任( 2名) 3. なし		
本特許情報分析結果の活用への経営層の関与の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有(経営層の役職:代表取締役社長) 2. 無	
過去に本事業による支援を受けたことがあるか <small>(※平成27年度、平成28年度、平成29年度において、同一企業において、過去の調査目的(具体的にどのような情報を知りたいのか)が同一の支援を受けられた場合は、支援対象に選定されない場合があります。)</small>					<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有(時期: H 年 月頃) <input type="checkbox"/> 2. 無	
知財に関する実績						
過去の出願実績	国内特許出願	国内実用新案	外国特許出願 ※ファミリー単位	(うち共同出願)		
出願件数	65件	0件	3件	8件		
(うち権利存続中)	24件	0件	2件	5件		
(うち、ライセンス・有償譲渡等の活用件数)	1件	0件	0件	1件		
本申請に関連する特許等番号(代表例)	特許	5060●●●●	号			号
	特開	2012-123●●●●	号			号
						号
ヒアリング可能日 (今後の日程調整頂く候補日(6/7~6/30)を、御提示を※御対応可能な時間帯の()内に○を ※最終的には、案件の採択が決定した後に、日程を決定させて頂きながら、スムーズな日程調整のために、事前に、可能な限り多くのヒアリング可能日を御提示頂きますよう、御協力をお願い致します。						
日	月	火	水	木	金	土
			6/7 午前(×) 午後(×)	8 午前(×) 午後(×)	9 午前(○) 午後(○)	10

同じ発明を複数の国で特許出願・取得した場合、それらの特許をファミリー呼び、ここでは、合わせて1件とカウントします。

貴社の特許でも、今回のご依頼と無関係であれば記載の必要はありません。また、複数ある場合は、必ず全件特定せずとも、代表例のみで大丈夫です。また、代表例が未公開の案件の場合は、ヒアリング等において、分析の検討のために、内容について御質問させて頂くかもしれませんので、御了承を宜しくお願い致します。

(独)工業所有権情報・研修館委託 平成29年度中小企業等特許情報分析活用支援事業  
**特許情報分析利用申請書 (①研究開発段階②出願段階)** [20170501 版]

11	12 午前(×) ) 午後(×) )	13 午前(○) ) 午後(○) )	14 午前(×) ) 午後(○) )	15 午前(×) ) 午後(×) )	16 午前(×) ) 午後(×) )	17
18	19 午前(×) ) 午後(×) )	20 午前(○) ) 午後(○) )	21 午前(○) ) 午後(○) )	22 午前(○) ) 午後(○) )	23 午前(×) ) 午後(○) )	24
25	26 午前( ) ) 午後( ) )	本事業は、他の多くの中小企業等様とも短期間で日程調整を行う必要があるため、日程調整は非常に重要です。是非、本事業の円滑な運営のためにも、より多くの候補日提示にご協力ください。			30 午前(○) ) 午後(×) )	
内部処理欄						
No.			価格		記録	

赤字の項目は必須、その他の項目は該当する情報がある場合には記入をお願いします。

「①研究開発段階」「②出願段階」の特許情報分析利用申請に当たっては、下の項目についてご同意いただく必要があります。ご同意いただけない場合は、本申請書をご提出いただいても、支援対象候補案件にはなりません。また支援対象となる案件は、その内容・状況等を勘案し、事務局にて選定いたします。本申請書をご提出いただいても、支援対象に選定されない場合がある点、あらかじめご了承ください。

**個人情報の取扱いについての同意書**

提供する本申請書及び添付資料、その他本事業に関連して提供するあらゆる情報に含まれる氏名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報について、一般社団法人発明推進協会が、本事業に関わる業務(利用申請の受付・管理・精算、申請者への問い合わせ・訪問、特許情報分析会社等(当該特許情報分析会社等の本事業に関する提携先も含む)への特許情報分析依頼、本事業実施結果の分析・検証・独立行政法人工業所有権情報・研修館等への報告、関連する事業のご案内送付など)の目的において利用すること、また一般社団法人発明推進協会が、本事業に関わる業務の目的において、独立行政法人工業所有権情報・研修館及び特許情報分析会社等に対して個人情報を提供及び委託することに同意いたします。

同意する       同意しない(サービスはご利用いただけません)

お忘れなく。

以上、本申込書の記載内容に間違いがないことを確認し、特許情報分析の利用申請を行います。  
 平成29年5月18日

申請者名称 発明推進株式会社      担当者名 創造 太郎



(次頁以降、御依頼の特許情報分析内)

捺印が必要なため、word で作成されても、そのままは送れません。捺印の上、PDF ファイル等でお送りください。

特許情報分析依頼目的(該当するものに○)			
①研究開発段階	②出願段階		
└研究開発の方向性決定	○	└権利化可能性の把握	
└無駄な研究、重複研究の回避		└オープン・クローズ戦略策定	
└発明の手がかり発見を通じた	○	└強い権利の取得	
└新事業展開の可能性判断		└他社権利抵触関係の把握	
└他社権利抵触関係の把握	○		
└その他	アライアンス先の探索		

複数も可となりますので、今現在の想定で結構ですので、該当しそうな目的について記載をお願いします。また、後日のヒアリング等を通じ明確にしていきます。

特許情報分析依頼内容	
<b>対象技術・プロジェクトの名称等</b>	病院内における自立型搬送ロボット
<b>対象技術・プロジェクト等の説明を記載して下さい。</b>	<p>病院内において、看護師等に代わり検体・薬剤等を搬送する、自立型搬送ロボットに係る技術である。</p> <p>当社は搬送制御システムのメーカーであり、近年は主に中規模工場・物流倉庫等における無人システム設計・製造等に注力している。</p> <p>今般、〇〇大学と共同研究契約を締結し、当社の搬送技術と〇〇大学の自動認識・センシング技術を応用した、ラインや軌道等の施工を伴わない自立型搬送ロボットの開発プロジェクトを立ち上げた。</p> <p>具体的には、安全かつ効率的な自律走行を可能とするための、検知情報に基づく地図作成、および経路生成・決定方法、障害物回避方法に係る関連技術等の開発が挙げられる。</p>
<b>依頼目的、抱える課題の詳細について記載して下さい。</b>	<p>医療現場では、院内における薬剤や検体等の搬送作業の省力化・コスト削減ニーズが高まっており、有効な解決手段の一つとして、ロボットによる搬送が注目され始めているが、患者・看護師・見舞客等人の往来が比較的多い院内において、安全面等院内環境に配慮しつつ、効率的な自律的搬送を実現する必要がある。</p> <p>検討すべき技術課題は、センシング・経路判断・足回り(駆動部)・遠隔操作による運行制御・ヒューマンインターフェイス等多様である割に、ロボット自体は新規参入のため手持ちの情報に偏りが多く、広い視野で開発の方向性を検討・判断するための作業が停滞していた。</p> <p>必然的に、技術補完のためのアライアンス先等の情報も不足していた。</p>

赤字は必須項目です。必ず記載してください。余白を埋めることよりも、皆様が伝えたいと思っていることが必要十分に書かれているか、という点から書きぶりをご検討ください。

い。  
**また、社内における当該プロジェクトの位置付けが明確であれば、併せて記載下さい。**

調査対象の技術は、どのような製品に使われるものですか？  
 また、この技術に関し、貴社ではどのような開発目標を立て、R&D等の事業活動を進めている(進めていく)のでしょうか？という点にも留意して記載いただけますと幸いです。

\*ヒアリング等この案件を担当する調査員は技術的知見を持った者ですが、この案件の技術分野の専門家とは限りません。そのため、次項含め、技術内容については、平易な記載をお願いします。

どのようなことに困っていて、今回特許情報分析を利用するに至ったのでしょうか？  
 その背景も含めて記載してください。

	<p>特許マップについては、リンク先のパンフレットをご覧ください。</p>
<p>今回の特許情報分析により、具体的にどのような情報を知りたいか、できるだけ詳細に記載して下さい。</p> <p>どのような情報が得られれば、前項の困りごとの解消に役立ちそうでしょうか？          ほしい特許情報をイメージして記載ください。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライバルの出願動向</li> <li>・課題解決に繋がりそうな技術</li> <li>・共同研究先の候補…etc</li> </ul> <p>他にも色々あると思います。</p>	<p>①院内自立型搬送ロボットの開発に必要な要素技術としては、どのような技術があるのかを把握し、<b>特許マップ</b>により開発の全体像を把握したい。</p> <p>②特に、センサーによる検知情報に基づく地図作成、および経路生成・決定方法、障害物回避方法に係る関連技術の、研究開発動向を俯瞰したい。</p> <p>③本件製品分野では、△△や□□機械の他、米国であれば Aethon 社等が実用性の高いロボットを稼働させているが、各プレーヤーが、どのような経路生成・障害物回避技術に取り組んでいるのか深掘りし、国内外を問わず特徴的な技術を把握したい。</p> <p>④また、昨今、日米のIT 企業や自動車メーカー等を中心に開発が盛んな自動運転技術に係る特許が、本件のような病院内での自立走行型ロボットの開発に(抵触等の面から)影響を及ぼし得る技術であるのか、注視すべき技術であるのかについても、判断できる情報を提供していただきたい。</p> <p>調査の優先順位としては①・②&gt;③&gt;④でお願いしたい。</p>
<p>特許情報分析結果の活用方法・分析結果を基にした今後の行動・計画・スケジュール等について記載してください。</p> <p><u>※特に、本プロジェクトの事業化・製品化に向けた行動・計画・スケジュール等があれば具体的に記載して下さい。</u></p>	<p>特許情報分析結果は、〇〇大学との定例研究会議において、技術面から開発の方向性を探る検討材料として活用したい。また、これとは別に、当社の経営戦略会議においても、事業性の観点から自立型搬送ロボットの開発を検討する資料として活用する予定である。</p> <p>なお、当社は中期計画において自立型搬送ロボットのテスト版を地域の病院で試験導入する方向であり、従って、上記検討も可能な限り早期、少なくとも本年度上期には実施したいと考えている。</p> <p>この分析結果を貴社の R&amp;D や事業活動のどのような場面で活用する予定でしょうか？          この問いは、報告会での報告・納品で終わりではなく、その後、貴社で分析結果を活用してほしいというところにあります。</p> <p>製品化や海外展開に向けた道筋・プランがありましたら記載ください。</p>
<p>本プロジェクトに関する、今後の事業化・海外進出の計画があれば記載して下さい。</p>	<p>将来的には、他国市場への進出も視野に入れていくことになるが、現在は、高齢化社会が先行する我が国において、実用性の高い製品・サービスを提供し技術力・ノウハウ等を蓄積することを重視している。</p> <p>そのため、まずはテスト版の早期導入(2 年半以内)と、現場ニーズを踏まえた改良・機能向上のスパイラルを確立し、その後の国内市場(病院内)での</p>

	<p>展開に繋げていきたい。          但し、海外展開への布石として、ノウハウ保護が困難な有望技術を開発した場合は、先行して海外(高齢化社会が進む西欧及び中国等)での特許取得を進めたい。</p>
<p>大学・企業・公的研究機関等との連携状況や、今後の計画について、記載して下さい。</p> <p><u>※特に、研究成果の事業化に向けた提携があれば、具体的に記載して下さい。</u></p>	<p>上述の通り、〇〇大学と共同研究契約を締結しており、相互のノウハウ・技術開示を行い、ターゲットとなる開発技術候補の選定を行う段階にある。また、同大学を通じ大学の付属病院とも連携し、病院関係者の研究会議等への招聘を通じて病院特有の情報等を収集し、開発に反映させていく予定である。</p> <div data-bbox="970 891 1444 987" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #0070C0; color: white; text-align: center;">             知財総合支援窓口については、              リンク先のHPをご覧ください。         </div>
<p>本プロジェクトに関して受けている支援があれば、その支援内容や、本プロジェクトとの関係を記載して下さい。(例:(独)工業所有権情報・研修館、特許庁、経済産業局等知的財産室、知財総合支援窓口、各種政府補助金等)</p>	<p>本プロジェクトの〇〇大学との共同研究契約は、▲▲県の<a href="#">知財総合支援窓口</a>担当者によるサポートにより実現したものである。検知技術は当社の技術的蓄積が浅く、安全性の高さが要求される病院用の製品開発におけるネックとなっていた。</p> <p>本共同研究契約により、経産省の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)にも応募することができた。無事採択され、試作品の開発に活かしていく予定である。</p> <p>本技術の開発成果については、支援窓口担当者にアドバイスを求めながら、特許出願の是非等を検討していきたい。</p> <div data-bbox="531 1444 1321 1608" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #0070C0; color: white; text-align: center;">             国のみならず、地方自治体等の公的機関からの支援があれば、幅広く記載ください。         </div>
<p>参考情報・添付資料等  <u>※上記各欄に記載していない、その他、参考情報、例えば、本プロジェクトの理解に役に立つ関連情報(プロジェクトの補足資料、知財の下調べ結果(関</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社関連製品パンフレット</li> <li>・〇〇大学研究シーズ集(本件関連技術掲載)</li> <li>・△△関連製品紹介ホームページ</li> </ul>

<p><u>連する特許等)や、本プロジェクトに関連する他社企業等)があれば記載して下さい。</u></p> <p>※郵送・FAXで申請する場合は資料の種類とページ数、電子データで申請する場合はファイル名等を記載</p> <p><u>※添付資料等の内容を本申請書の中で引用される場合は、申請内容の誤解を防止するために、申請書中にも引用内容の概略を記載する、もしくは、添付資料の引用箇所(頁番号等)を記載するよう</u>にして下さい。</p>	
---	--

**赤字**の項目は必須、その他の項目は該当する情報がある場合には記入をお願いします。

(申請書は、以上となります。御申請を頂き誠に有難うございました。)